

NO. 14	野 鳥 観 察
--------	---------

1 ねらい

- ・年間を通じ、さまざまな野鳥が見られる自然ふれあい館のまわりで、野鳥の姿や鳴き声をはじめとし、生態の違い等を観察することを通じ、泉ヶ岳の自然環境に興味・関心を持たせる。
- ・植物や昆虫との関係を考えたり、自分たちの住んでいる町の中で見られる野鳥と比較したりすることにより、野鳥への関心と理解を深めさせる。

2 活動の計画

- (1) 活動期間        通年
- (2) 所要時間        1時間～
- (3) グループ編成   1グループ4名程度
- (4) 活動場所  
      古民家周辺～登山コース～ふるさと緑の道付近（実態に応じてコース設定可）
- (5) 準備物

自然ふれあい館	利用団体
双眼鏡 ポケット図鑑（日本野鳥の会編）	特に準備物がなくても活動可 メモシート等を用意してもよい。

3 活動上の留意点

- ・事前踏査を行い、活動場所の確認をしておきます。
- ・危険な場所、有毒動植物などについての事前指導を行います。
- ・観察中は極力静かに行動し、野鳥を脅かしたりしないように指導します。
- ・野鳥観察は季節や時間帯により、見られる鳥が違うので事前に調べておくとよいです。
- ・双眼鏡の使い方を事前に練習しておくるとよいです。

4 展開例

区 分	内 容	備 考
説 明	1 活動のねらい 2 服装と準備物確認 3 道具の使い方練習 4 諸注意，コース確認	
活 動	1 コースをゆっくり散策しながら野鳥観察をします。 2 姿，声などをたよりに観察します。 3 見つけた野鳥を図鑑やシートで確認します。	・活動範囲や開始時刻を考慮します。早朝7～8時・夕方4～5時等。
まとめ	1 グループ毎に見つけた野鳥について名前や感想等を発表します。 2 道具類の片付けをします。 3 資料を持ち帰り，活動を継続します。	・事後のまとめ学習などに使用する場合，調べた資料等を持ち帰るとよいです。

5 その他

野鳥観察は、継続して行うことによりいろいろな野鳥を見る機会が増えます。自然ふれあい館での野鳥観察をきっかけにし、自分の家や学校のまわりなどでの継続した野鳥観察ができるとよいです。また、バードコールの制作やえさ台・巣箱の製作・設置等、クラフトや定点継続観察等の発展的な活動も期待できます。

野鳥を観察しよう(1) 見てごらん かわいい鳥たち

ツツビー・ツツビー



ツツニワカズ

飛び方や飛ぶ姿

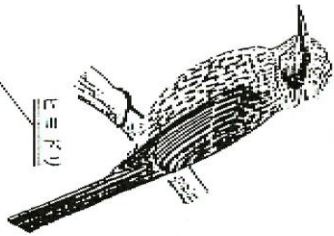


チチン・チチン



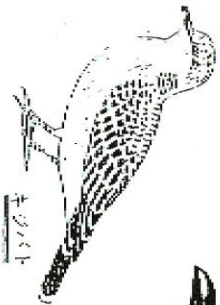
キセキレイ

ビヨ・ビヨ



ヒヨドリ

チーチーポーポー



キツバト

カアカツ・カアカツ



ハシロトガラス

ビエビエ



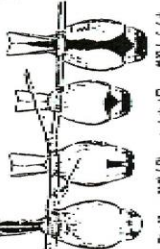
形は三つ葉のよう  
な特徴がある

スズメのように、細かく羽はたき、まっすぐ飛ぶ。

波の形のように、上下しながら飛ぶ。

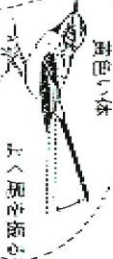
よく飛んでいる。

シロカラス  
ヒカラス  
コカラス  
モカラス



秋〜春先までいるし冬は群れを作って生活している。

くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。



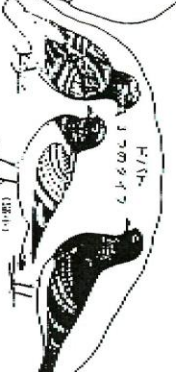
黄色い体  
よく黒を落とす  
遠足で歩く

くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。



ササカサの頭  
体の色は灰色と赤色か  
つた色

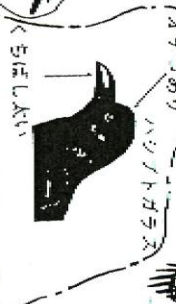
くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。



街の神社・寺・駅でよく見かける。



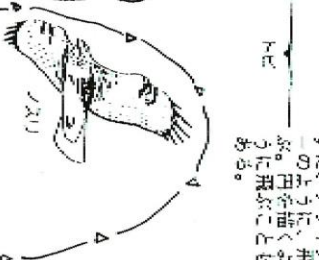
音のソワソワ  
クロコトコ  
公園や田舎の住宅地に多く見られる。



オチコなし  
田舎のある場所  
にすむ  
景や音にはたま  
に現れる



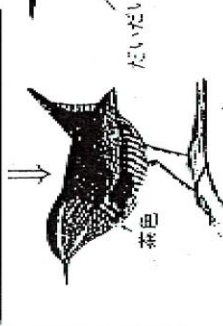

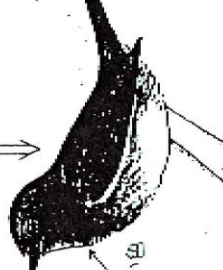

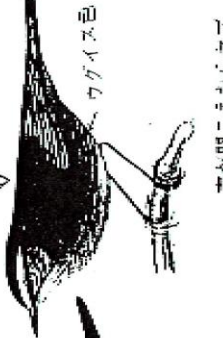
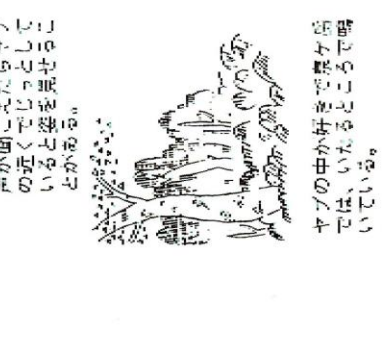
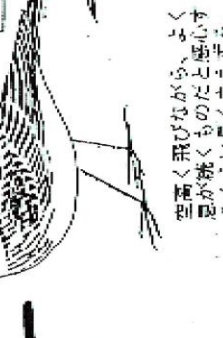

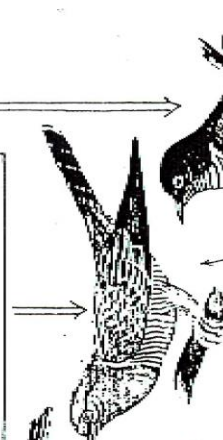

くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。



くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。

くらしのほとんどもいて公園や田舎の住宅地に多く見られる。

野鳥を観察しよう(2) 耳をすましてごらん 鳥のさえずりに

<p>ミソサザイ 谷川のほうから聞こえる チリリリー・ピョツイッピルル ピョツイッピルル いろいろの聲でさえずる</p>	 <p>茶色 だいたい色</p>	<p>大声なので大きい鳥かなと 思うとあまりに小さいので ビックリしてしまう。</p>  <p>川の近くに住む自然の家 の周りではヒソサザイやヤシ キ川で見かける。</p>	<p>くらしら 水ゴケなどで巣を作る 体が茶色なので、隠つ けにくい。さえずる時 は腹を立てて鳴く。</p>
<p>コマドリ ヤブの中から聞こえる ヒンカララララ 馬のいなまきのように聞こ えるところから名がついた</p>	 <p>ウグイス色</p>	<p>姿を見つけてるのが むずかしい。</p>  <p>森のヤブの中が好きで 鶯ヶ岳では登山道のお きでよく鳴いている。</p>	<p>くらしら 夏鳥としてやってくる クマサササの茂った渓谷 や斜面にいる。</p>
<p>ウグイス ヤブの中から聞こえる ホー・ホケキョ・ケキョ ケキョ・ケキョ 鳴き方にも上手下手がある</p>	 <p>ウグイス色</p>	<p>声か聞こえたらヤブ の近くでじっとして いると姿を見せると どかある。</p>  <p>ヤブの中が好きで鶯ヶ岳 では、いたるところで鳴 いている。</p>	<p>くらしら 全国どこにでもい て、市街地へ降り、 テラス・テラスとしか鳴 かない。水平に近い かっこうで木の上に止ま る。</p>
<p>ヒバリ 草原で聞こえる ピュル・ピュル・ピリ・ピリ リイリイ・ピリリイ いろいろの聲でさえずる</p>		<p>空高く飛びながら、よく 息が長くのたると感心す るくらい長い長くさえずる。</p>  <p>川原や草原の広い所が大 好き、牧草地やスキー場 で見かける。</p>	<p>くらしら 地上に巣を作る。水浴 びはしないので、砂を浴 びて、体についた虫を とる。</p>
<p>ホトトギス 高い木の上で鳴く キョツキョツ・キョツキョツ キョツキョツ 特徴音可成と聞こえる</p>		<p>カッコウ 高い木の上で鳴く カッコウ・カッコウ 黒鳥としてやってくる 鳴き声は遠うが空はそ やくり。</p>  <p>高い木の枝や電線に 止まって鳴いている。飛びな がら、鳴くこともある。</p>	<p>くらしら と別の鳥の巣に卵を産みつけ たさなを育ててもらう。「たくら 自分の子を持つてもらう。「たくら ン」という。ホトトギスなどはウグ イスを「たくらん」の相手に使う。 ホトトギスは夜、鳴きながら飛ぶこ とがある。</p>